

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ちゃちゃまる		
○保護者評価実施期間	令和8年2月9日		令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年2月9日		令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりにあった支援内容を工夫しています。	異年齢のお子様が通所しますので、年齢に合わせた教材を提供しています。個別支援の他に集団活動もみんなが楽しめる内容を考えています。楽しみながら力をつける、わかりやすく伝える工夫、お友だちと力を合わせる機会を作るなど、お子様が通いたいと思わせる支援を心掛けています。	支援内容の幅を広げられるように、研修や情報収集を行います。子どもたちの様子にも気を配りながら実践していきます。
2	新しい施設になり環境面が改善されました。	新施設を設計するにあたり、子どもたちの生活しやすい同線を重視して作りました。靴置き場からすぐに荷物入れに移動でき、手洗い場、トイレという流れを作ったことでスムーズに活動室に移動することが出来ています。また、広いホールがあるので体育活動も充実しています。バリアフリーとなり、歩行が難しいお子さまでも安心して移動することができます。	玩具の置き場や、掲示物の場所など子どもの目線で工夫した位置に設置する必要があります。職員間で話し合いよりよい環境作りをして参ります。
3	同じ敷地内に就労継続支援B型事業所が併設されています。	就労継続支援Bの方々との交流をしています。将来に向けたビジョンを作るのに、就労施設見学や就労体験を行い見通しを立てやすくなるようなきっかけづくりを行っています。	中学生、高校生対象の職場見学を企画したいと思っています。就労するという意識を待っていくための機会を作ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりがまだ出来ていません。	移転する前の施設でも、地域とのつながりは上手くできませんでした。地域の活動やイベントなどの情報をいただく手段が分からない状況でした。	新しい場所に移転しましたので、ご近所の方や地域の皆様と触れ合えるようにかかわりを持っていきたいと思っています。
2	ベアトレや交流会の場を設けることが出来ていません。	以前施設では駐車場の確保が難しく保護者の交流の場を設けることが出来ませんでした。	今年は施設の前に保護者の駐車できるスペースが確保できますので交流の場を設けたいと思います。
3			